

国際理工情報デザイン専門学校

自己評価結果
(平成28年度)

目次（評価項目一覧）

1. 教育理念・目標

- 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか
- 学校における職業教育の特色は何か
- 社会経済のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか
- 学校の理念・目的・育成人材像は・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか
- 各学科の教育目標、育成人材象は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか

2. 学校運営

- 目的等に沿った運営方針が策定されているか
- 運営方針に沿った事業計画が策定されているか
- 運営組織や意志決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
- 人事、給与に関する規定等は整備されているか
- 教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか
- 業界や地域社会に等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
- 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

3. 教育活動

- 教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか
- 教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
- 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
- キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
- 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか
- 関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか
- 授業評価の実施・評価体制はあるか
- 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
- 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
- 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか

- 人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか
- 関連分野における業界等との連携に置いて優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか
- 関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか
- 職員の能力開発のための研修などが行われているか

4. 学修成果

- 就職率の向上が図られているか
- 資格取得率の向上が図られているか
- 退学率の低減が図られているか
- 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
- 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか

5. 学生支援

- 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- 学生相談に関する体制は整備されているか
- 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- 学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- 課外活動に対する支援体制は整備されているか
- 学生の生活環境への支援は行われているか
- 保護者と適切に連携しているか
- 卒業生への支援体制はあるか
- 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
- 高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

6. 教育環境

- 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
- 防災に対する体制は整備されているか

7. 学生の受入れ募集

- 学生募集活動は適正に行われているか
- 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- 学納金は妥当なものとなっているか

8. 財務

- 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 財務について会計監査が適正に行われているか
- 財務情報公開の体制整備はできているか

9. 法令等の遵守

- 法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか
- 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- 自己評価結果を公開しているか

10. 社会貢献・地域貢献

- 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
- 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか

1. 教育理念・目標

(1) 採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
学校の理念、目的のもとに特色ある職業教育が行われているか	4
社会経済のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像は・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材象は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	4

(2) 現状

- 当校では以下の教育理念、教育目標を掲げ、人材育成を行っている。また、これらの教育理念、教育目標のもと、各学科において学科教育目標が定められている。

【教育理念】

- ・アットホーム教育の実践。

：“学生は家族、顧客は企業” “すべては学生のために” という理念の下、学生の立場に立った学校運営、そして、企業との連携を重視した職業教育をその教育方針とする。

【教育目標】

建学の精神

：教育、文化を通して地域社会、国家の発展に寄与する。

①スペシャリストの育成

：職業実践教育を通して戦力となりうる資格、能力、知識を備えた「スペシャリスト」を育成する。

②豊かな人間形成

：社会的常識と基本マナーを備え、明るく健康で建設的な意思を持ったビジネスパーソンを育成する。

- 当校の教育の特色として以下の点が挙げられる
 - ・ 専門分野の企業と連携した実践的な技術教育を実施している。
 - ・ 卒業後の進路選択に備えて専門分野の資格取得に対応するためのカリキュラムを整備している。
 - ・ 豊かな人間性を養うために学校行事、クラブ活動、クラス会等を積極的に実施している。
 - ・ 国際的な視野を養うため、1年次約2週間のマレーシア・ミニ留学を設けている。
- 教育理念や教育目標は学生には、プレスクールやオリエンテーションで配布する「学生の手引き」等により周知している。

(3) 課題と改善策

保護者への周知については、まだまだ不十分である。引き続き、学校ニュース「国際理工だより」を配布し、またホームページを活用しての情報発信を徹底していく。

今後はクラス担任制の利点を活用し、担任と保護者の連携を密にしていく手段を検討する。

2. 学校運営

(1) 採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4
人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

(2) 現状

- 運営方針は部門長によって作成される業務計画書に明記され、全教職員に周知されている。
- 学校の運営については、学則および諸規定によって明確化されており、有効に機能している。また、教職員による運営組織については組織図、校務分掌を毎年作成することで明確化している。
- 教務・財務等の組織整備など、重要事項については、理事会・評議委員会が組織され、特に不定期に発生する法人全体に関わる重要事項についても、理事会・評議委員会に報告し、意志決定がなされている。
- 校内においては教職員会議を定期的に行い、必要に応じて重要事項の協議あるいは周知を図っており、組織としての意志決定を効率的に行っている。
- 人事、給与については法人の就業規則並びに諸規定によって規定されている。
- 教育活動等については当校 Web サイト等により情報公開に努めている。
- 情報システム化としては、学籍管理システム、財務会計システム、予算検討システム、学校業務支援システム（学生納付金の管理等）等により効率的に運用されている。しかし、今、より細かい情報・分析のため新しいシステムについても検討している。

(3) 課題と改善策

業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制についても Web サイト等の一層の充実をはかりながら改善をしていきたい。

教育活動等の情報公開は、『NEWS&TOPICS』、『熱血先生日記』、『自己評価書』、『財務諸表』、『職業実践専門課程「別紙様式4」』など、ホームページ上に随時更新していく。

3. 教育活動

(1) 採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか	4
教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	4
関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修などが行われているか	4

(2) 現状

- 教育課程の編成・実施は教育理念、教育目標を踏まえた上で、教育課程編成委員会での意見も加味しつつ、学科長を中心に策定される。明確に定められた学科教育目標に沿って体系的に編成されている。
- 授業評価については前期・後期の各期に1回、年間2回の学生授業評価アンケートを行っている。結果は担当教員にフィードバックされ授業の改善に反映されている。
- 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確に定められており、「学生の手引き」に記載され学生に周知されている。
- 資格取得についてはカリキュラムの課程認定を進めることで体系的に位置づけ取得しやすい体制を整備している。また、対策授業を取り入れることで学生の資格取得を支援している。しかしながら、専門学校教育の中での資格の重要性を考えると、まだ一層の努力が必要である。
- 教員の資質向上については、専任講師は法人の資格取得奨励制度の活用による専門分野の資格取得を含め、研修会、学会への参加等を奨励している。また、職員の能力開発についてはマネジメントや広報等、各種研修に取り組んでいる。

- 教職員を積極的に外部研修に参加させる一方で、内部研修として、参加した教職員の成果を全員で享受する目的でフィードバック研修を夏・冬・春に年3回実施している。
- 相互研修として、互いの授業を見学し、切磋琢磨させる機会をシステム化している。全ての授業をオープンにし、いつでも、だれでも、授業見学できるようにし、授業に緊張感を持たせている。

(3) 課題と改善策

教育課程編成委員会も定着してきたので、定期的に企業や業界団体の意見を伺いながら、カリキュラムについて毎年見直しを図っていく。

また教職員についても、専攻分野ならびに指導力の向上のために協会などの外部研修を積極的に受講させていく。

4. 学修成果

(1) 採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

(2) 現状

- 就職サポートセンターを中心に、クラス担任、ハローワーク、業界、卒業生等との連携を図り、求人獲得、就職支援を行っている。
- キャリア教育として、業界関係者、業界で活躍する卒業生等による講演を毎年開催している。また、就職に向けた動機付けや業界研究等の研修も毎年実施している。
- 健康上の理由や精神的な理由による長期欠席等、学生の状況については、月例の教職員会議で各クラス担任からの報告により把握、共有される。また保護者との連携強化を図り、学生の生活上の諸問題等についてもご家庭と共有する形式にて退学率の低減に努めている。
- 卒業生については校友会が組織され、校友会との連携により卒業生の動向の把握に努めている。

(3) 課題と改善策

- 夏休みと春休みの授業がない期間を利用して、教員による企業訪問を実施し、本校卒業生の勤務状況を企業から直接伺っている。この企業訪問を今後の学生指導や教育内容に反映していきたい。
- 資格所得率については、建築系は向上しているが、情報系が伸び悩んでいる。来年度に向けて早急に対策を講じたい。

5. 学生支援

(1) 採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

(2) 現状

- 進路・就職相談について、担任と就職サポートセンターのスタッフが窓口となり、本人の希望や業界とのマッチング等に配慮しつつ個別指導を行っている。また、学科卒を超えた求人に対しても分野の学科長を交えた進路・就職相談を実施している。
- 学生相談室を設け、担任→リーダー→教務部長→学校長と相談内容に応じた相談体制を整備している。
- 経済的な支援体制については、奨学金制度の周知、納付金の延分納制度等を整備している。また、事務局に担当窓口を設け、教育ローンや奨学金活用の相談を受け付けている。
- 学生の健康管理は、校医による年一回の健康診断を実施している。窓口に薬を常備し、保健室を設け、総務課の専任職員を管理者として配置している。
- 課外活動については、一定の基準を満たしたクラブについて、学校公認のクラブ活動と認定し、活動費の補助等の支援を行っている。現在、15クラブが活動している。
- 2日以上欠席の学生には担任から保護者に連絡し改善をうながしている。希望者には学科長との個別面談を実施し、保護者との連携を図っている。また、遅刻、欠席が目立つ学生には保護者同席でその程度に応じて学科長、管理部長、学校長との面接を実施している。
- 卒業生に対しては年1回の校友誌の郵送と校友会を実施している。春・夏休みにOBの就職した企業へ教職員全員で訪問し、情報収集を実施している。
- 千葉専各との連携で“仕事の学び場”という講座を開講している。(8月)
- 高等学校と連携して、希望生徒に Excel 検定対策講座を行っている。
- 工業系高校人材育成コンソーシアム千葉に関係機関として参加、また京葉工業高等学校の外部評価委員としても協力している。

(3) 課題と改善策

高等学校に放課後、本校教員を派遣して実施している Excel 検定対策講座のように、県内の高校生や高校教員に対し、本校の教育資源を活かして連携を進めて行く。

6. 教育環境

(1) 採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
防災に対する体制は整備されているか	4

(2) 現状

- 平成28年度7月に4号館が竣工。CP/普通教室1室・普通教室1室・デザイン室1室が増え、学生により充実した環境を提供できた。また、本館に図書ホールを設置してそれぞれの科の専門書を所蔵し、学生の卒業制作の調べものや自習で活用できるようにした。また、平成29年度に、7教室（各80㎡）と1学生ホールを持つ5号館が完成する。学生にとっては、ゆっくりと落ち着いて学習できる環境が整備され、充実したキャンパス・ライフを送るスペースが誕生することとなった。
- 公的施設を活用した就職集中講座や卒業制作発表会等を実施している。また、海外研修については、選択科目として希望者を募り選抜の上マレーシア・ミニ留学（約2週間）を実施している。今後もグローバル人材の育成には力を入れたい。
- インターンシップについては、学生の約10%が実施している。
- 10月にマレーシア ラーマン大学合唱団42名と教員3名が来日し、本校においてコンサート・交流会を実施、本校教職員の各家庭においてホームステイも行った。

(3) 課題と改善策

マレーシア・ミニ留学については、毎年24名の学生（任意の希望者より選抜）を2週間クアラルンプールに滞在させ、グループワークを中心にカレッジ交流、ホームステイ等も組み入れ実施している。今後ともグローバル人材の育成に向け効果的に実施していくため、事前学習、事後学習も充実させていきたい。

インターンシップについては、学生の実施比率を高める努力をしたい。企業サイドからのインターンシップの要請はあるので、より効果的なインターンシップが実施される様に、そのシステムを早急に構築していく。

7. 学生の受入れ募集

(1) 採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学生募集活動は適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

(2) 現状

- 学生募集については、パンフレット、学生募集要項を毎年作成し、入学希望者に配布している。また、ほぼ月1回の頻度でオープンキャンパスと学校説明会を開催し、オープンキャンパスでは授業体験を実施する等して当校に対する理解を深めてもらっている。その他、全教員による県内高校訪問等による学生募集活動も実施している。
- 卒業生の進路状況や各種資格検定取得状況等の教育成果は、パンフレットや Web サイトへの掲載によって公開されている。
- 昨年の課題と改善案に基づき、高校2年生に対する学校体験会を12月、2月、3月と早期に実施し、一定の成果を上げた。来年度は8月にも実施し、正確な情報を伝えたい。
- 平成28年4月入学者については、入学定員を充足することができた。

(3) 課題と改善策

特になし。

8. 財務

(1) 採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

(2) 現状

- 会計監査については、月に1回、公認会計士による収支チェックを実施している。
また、毎年、決算等について、監査を受けている。
- 財務情報はホームページにて公開している。

(3) 課題と改善策

特になし。

9.法令等の遵守

(1) 採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

(2) 現状

- 法令、設置基準の遵守について、所轄官庁との対応は管理部が窓口となり一括して行っている。また、所轄官庁等からの通知についても管理部を通じて学校長に通知され、教職員に周知されている。
- 個人情報の保護に関する規則は明文化されており、学生の手引きに記載され学生へも周知されている。
- 教職員へのアンケート等も踏まえた自己評価を実施し、問題点については順次改善に取り組んでいる。平成 25 年度からは学校関係者評価委員会も設置し、自己評価の妥当性、透明性の向上を図っている。
- 本報告書については、当校の Web サイトに掲載して広く公開している。

(3) 課題と改善策

特になし。

10. 社会貢献・地域貢献

(1) 採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	2

(2) 現状

- 県内中学・高校の総合学習にて分野の職業紹介・体験を実施している。
- 県内高校のクライミング大会の会場として、施設を提供している。
- 高校教員向セミナーを、夏・春（各2日間）実施している。

(3) 課題と改善策

学生のボランティア活動等については、エコキャップ運動を行っている。今後も、ボランティア活動を学生指導の一環として出来ることから実施したい。今年度はクラブ活動としてボランティア部が活動を開始した。(週1回)

平成27年度は、「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業（ゲームCG分野における千葉県版ゲームグラフィック系学び直しプログラム開発実証）の文部科学省委託事業として『造形に使える3DCGモデリング講座（Maya講座）』を12月7日～11日（5日間）ポートプラザ千葉において実施したが、平成28年度においては文部科学省から事業が採択されなかったため実施することができなかった。他の事業も含めて検討の余地がある。

教育訓練の受託については、十分な定員充足（本科生）があるため、今のところ考えていない。5号館完成後は、施設に少し余裕がでてくるので考えてみたい。